

HONDA VEZEL

都会からアウトフィールドまで、
どんな舞台にも映える装い。



スマートSUVで
3倍広がる
ライフスタイル



登場から3年以上を経てなお 魅力的なオールマイティさ

都心をスタートして夕暮れの海まで。ホンダ・ヴェゼルで、丸一日をかけて走ってみることにした。2014(平成26)年から3年連続で国内のSUV新車登録販売台数第1位を記録したヴェゼル。現在のコンパクトSUVの人気を象徴するようなクルマの魅力を、今一度、味わってみたいからだ。

ヴェゼルのコンセプトはクロスオーバー性にある。ゆえにデザインも、SUVに求められる強靱さとともに、街に映えるエレガントテイストをバランスよく配したものとなっている。後方へと下だらかに傾斜するクーペのようなルーフラインは窮屈な室内を想像させるが、実際にリアシートに座ってみると、足もと、頭上を含め、すべてのスペースにゆとりがある。落ち着いたデザインのインパネも手伝って、室内には上質な雰囲気があふれている。ラゲッジルームも想像以上に広く、リアシートのクッション部を後方へとほね

上げる機能を利用すれば、高さ1220ミリものスペースが出現し、高さのある観葉植物のようなやっかいな荷物も難なく積むことができる。リアゲートの開口部は大きく、積み下ろしもスムーズ。コンパクトな車体ながら、大人4人でのロングドライブもこなす実力を十分もっているのだ。

ヴェゼルがはじめてお目見えたのは、13(平成25)年に開催された東京モーターショーのこと。ホンダのコンパクトカーであるフィットをベースにしたSUVだが、それを感じさせないフォルム、居住性、そして、SUVらしい力強さをあわせもったデザインなど、すでにヒットを予感させるものがあつた。デビューから3年以上が経過した現在でも、古臭くなるどころか、今なお街をリードするような存在感を放っていることに感心を感じるほどだ。

今回のドライブで改めて実感したのは、当たり前のように走りやすさである。実用性に富む1.5リットルガソリンに、低燃費を実現するモーターを組み

合わせたハイブリッドユニットは、発進加速はもちろん、高速道路における追い越し加速に至るまでストレスがない。それでいながら低燃費を実現していることにも驚く。

最低地上高が185ミリとさほど高くないので、道なき道を突き進むような走破性までは期待できないが、河原や砂浜、林道などの未舗装路を走るための能力は十分。乗用車ではたどり着けないアウトフィールドまで足を伸ばすことができる。そのオールマイティさは、どんなライフスタイルにもフィットする全方位型SUVといえよう。

昨年行われたマイナーチェンジでは、走りのグレードをさらに高めたRSが登場したほか、先進安全技術であるホンダセンシングを多くのタイプで展開するなど、時代に応じた進化を果たしてきた。さらにこの夏には、3色の特別仕様専用色を含む5色の特装カラーをまとめた特別仕様車も登場。人気は衰えを感ずるか、ヴェゼルというブランドの存在感が、より確かなものとなりつつある。



ミリ波レーダーと単眼カメラを利用した安全運転支援システム Honda SENSING



居住性の高さには定評あり。インパネもシンプルで先進性を感じさせる



2017年夏、特別仕様車にも注目

特別装備の内容は、LEDフォグライト、スポーツタイプ17inアルミホイール、ルーフレールなど。カラーはプレミアムイエロー・パールII(左写真)★、ルージュアメジスト・メタリック、ミッドナイトブルービーム・メタリック★、ホワイトオーキッド・パール★、クリスタルブラック・パールの計5色(★は37,800円高)。

砂浜や林道散策などはお手のもの。ラゲッジルームはその容量もさることながら、上級のSUV並みに開口部が広く、荷物の積み下ろしもスムーズに行うことができる



ヴェゼル ハイブリッドZ・Honda SENSING 4WD

価格:2,886,000円(税込)

ボディサイズ:

全長4295mm×全幅1770mm×全高1605mm

車両重量1390kg

パワーユニット:直4/1496cc

ガソリンエンジン+モーター

JCO8モード燃費:21.6km/L 乗車定員:5人

[問い合わせ]Hondaお客様相談センター

☎0120-112010